



病院だより

第33号

新城市民病院広報委員会

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

Fax 0536-22-2850 (総務課)

皮膚科を受診しましょう

「皮膚科の病気」と言っても、アトピー性皮膚炎、かぶれ、やけど、蕁麻疹、脱毛症、虫さされ、メラノーマ（ほくろのがん）、褥瘡（床ずれ）など数多くの病気があります。

最近ではドラッグストアなどで市販されている薬でも症状に合うものであればしっかりと治療できることもあり、かぶれや虫さされなど比較的軽症のものは皮膚科に受診することなく治療されている方が多くいらっしゃると思います。

ただ、皮膚科を受診せずに治ったと思っただけでも、しばらくすると再発してしまう水虫や、軽い湿疹だと思って痛みが出てくるまで放置されてしまいがちな帯状疱疹など、素人判断で治療するのではなく、できれば病院に受診してもらいたい病気があります。

どんな病気も早期受診で症状がひどくならないうちに治療できるようになります。

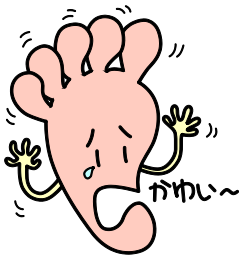


きちんと水虫退治

水虫は簡単に説明すると足の裏などにカビ（白癬菌）が寄生して起こる病気です。皮膚のうち一番外側にある角質層が白癬菌の住み家になっています。角質層は表皮の一番下で作られた細胞が徐々に外へ押し上げられたもので、古くなった細胞である角質層は垢となって落ちるようになっています。

水虫のまま裸足で床などを歩くとポロポロになった皮や垢が床に落ちます。落ちた皮や垢から感染する恐れがありますので、家族のためにも裸足で家の中を歩かないようにしましょう。

水虫は足だけではありません。手や爪も水虫になります。また、タムシやインキンなどの病気も水虫と同じ白癬菌による病気です。白癬菌による症状が出た場所によって水虫であったりタムシであったりと呼び名が変わります。



水虫であれば市販の薬でもきちんと継続して治療することで治すことができますが、水虫に似た病気がたくさんありますので注意が必要です。

水虫と確定するためには白癬菌を見つけることが第一です。そのためにも皮膚科へ受診して適切な診断を受けましょう。

怖い 帯状疱疹

帯状疱疹は、子供の時に水ぼうそうにかかったことがある人であれば、誰でも発病する可能性がある病気です。

頭や顔を含めた体の左右どちらかにピリピリした痛みを感じる場合があります。

その後、日増しに痛みが強くなり、赤い発疹が出てくれば帯状疱疹を疑って良いでしょう。帯状疱疹を経験した人の話では、「右側の背中だけ」とか「左側の脇腹だけ」など体の片側だけに症状が出ていることが多くあります。



原因は、普段は活動していない体内に潜んでいる水疱ウイルスが、体調を崩したり、過度のストレスを感じた時など、免疫が低下したときに活性化することで帯状疱疹となります。季節的には決算期、連休後、お盆後、12月末など疲労が重なる時に多くみられます。

特徴的な痛みに気付いたら、「もう一口味子を見て」なんて言わずに、皮膚科を受診してください。早い段階で治療を開始することで症状の進行を止め、重症化や神経痛などの後遺症を防ぎます。



帯状疱疹は、子供の時に水ぼうそうにかかったことがある人であれば、誰でも発病する可能性がある病気です。頭や顔を含めた体の左右どちらかにピリピリした痛みを感じる場合があります。その後、日増しに痛みが強くなり、赤い発疹が出てくれば帯状疱疹を疑って良いでしょう。帯状疱疹を経験した人の話では、「右側の背中だけ」とか「左側の脇腹だけ」など体の片側だけに症状が出ていることが多くあります。原因は、普段は活動していない体内に潜んでいる水疱ウイルスが、体調を崩したり、過度のストレスを感じた時など、免疫が低下したときに活性化することで帯状疱疹となります。季節的には決算期、連休後、お盆後、12月末など疲労が重なる時に多くみられます。特徴的な痛みに気付いたら、「もう一口味子を見て」なんて言わずに、皮膚科を受診してください。早い段階で治療を開始することで症状の進行を止め、重症化や神経痛などの後遺症を防ぎます。

今年の夏も 救護の夏！！



Make Some Noise 2009



救護所

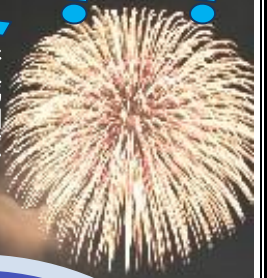


救護所



ツール・ド・新城

新城納涼
花火大会



この夏の救護ボランティア

7月 4日・5日
ツール・ド・新城

8月 13日
新城納涼花火大会

8月15日・16日
Make Some Noise 2009

救護活動で多い 切り傷・擦り傷

市内で行われるさまざまなイベントに救護ボランティアとして参加していますが、そこへ訪れる方の多くは切り傷や擦り傷の方です。

「傷ができたらずくに消毒してガーゼを当てなきゃ」と思い込んでいませんか？

体は自力で回復しようとしています。消毒とガーゼは傷口を乾燥させ、頑張っている細胞の働きを殺してしまい、不完全な治り方である「かさぶた」を作ってしまいます。

そこで今、「湿潤療法」が注目を浴びています。傷を負ったら砂などの汚れをきれいに水で洗い流すことと、消毒を行わず傷口を乾燥させないことがポイントです。

ただし、咬み傷やギザギザの傷、血が止まらない、砂などの異物が除去できない、患部が赤く腫れてくる、痛みが増してくるなどの場合には必ず病院にかかりましょう。

キズの新しい治し方

傷口を消毒しない、乾かさない 「湿潤療法」

④ 医療用粘着テープ（市販のもの）などでラップを固定し、傷口から染み出てくる浸出液を吸い取るため上から包帯を巻きます。

① 血が出ていたらまず止血！
傷口をおさえて心臓より高くすると5分くらいで止まります。

⑤ 汗疹にならないように1日1～3回交換しましょう。浸出液のヌルヌルが我慢できなければ水で優しく洗ってもOK。

② 傷周辺の汚れは水洗い！
傷口はこすらず傷口に入った砂などは残さず流しましょう。

⑥ 浸出液がしだいに少なくなりピンクでツルツルの皮膚になれば治ったということです。

③ 傷口より大きめの食品用ラップを貼る。白色ワセリン（市販のもの）を塗り傷口に当てると、保湿効果もありなお良いでしょう。